ファイル転送ソフト
VFTP
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

100917R07

この製品を安全にご使用いただくために

⚠ 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

・指定された電源電圧（AC100V 50/60Hz）以外では使用しないでください。

・AC 電源（室内電源）の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。

・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。

・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。

・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。

・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にからませないでください。

・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。

・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。

・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。

・空調設備を確認してください。

・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。

・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。

・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。

・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。

・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

・部品の取り付け方法（極性の逆等）を誤ると危険です。

・電源が入っている時に行うと危険です。

・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。

・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。

・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。

・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。

・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。

また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。

・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。

・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

･強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データーに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデーターはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。

・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。

・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。

・ファンのほこりの清掃

・カードエッジコネクタータイプの基板はコネクターの清掃を一ヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用していただくために定期的な（5年に一度）オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先・・・・・ビデオトロン株式会社

〒193-0835　東京都八王子市千人町２－１７－１６

TEL　042－666－6329

FAX　042－666－6330

受付時間　8:30～17:00

E-Mail　cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話　042－666－6311

緊急時　**　090－3230－3507

受付時間　9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

…… 目 次 ……

この製品を安全にご使用いただくために …… I
1. 概　説 …… 1
2. 機能チェック …… 2
1. 構　成 …… 2
2. 動作環境 …… 2
3. 接続 …… 2
4. 機能チェック接続図 …… 2
5. パソコンのネットワーク設定 …… 3
6. ファイヤーウォールの設定について …… 4
7. POWER ON までの手順 …… 5
8. 基本動作チェック …… 5
3. インストール …… 7
1. アプリケーション CD …… 7
2. アプリケーションインストール …… 7
4. 各部の名称と働き …… 8
1. メインウインドウ …… 8
2. グループ化とルールについて …… 21
3. プレビュー表示について …… 22
5. 転送対応機種と対応ファイルフォーマット …… 23
1. 転送対応機種 …… 23
2. 対応ファイルフォーマット …… 23
6. トラブルシューティング …… 24

1. 概　説

ファイル転送ソフト VFTPは、PC上の画像ファイルや音声ファイル、連番ファイルなどをファイル転送するWindowsアプリケーションです。PC上にある汎用データーを転送するファイル装置のフォーマットに変換を行いながら転送できます。PC上のファイルはディレクトリ階層化されたリストで表示され、名前の変更や転送順番の並び替え、連番ファイルのグループ表示などが行え、ファイルを一括してファイル装置に転送することができます。ファイル装置側のファイル一覧も表示することができ、ファイルの確認やグループ表示、ファイルの削除ができファイルの管理が行えます。

注記：アプリケーションが起動しているPCを「ローカル」、FTPで接続した機器を「ホスト」と記述します。

《特　長》

- 転送する装置にあわせ、データー変換や映像フォーマットなどのコンバートを行います。
- ホストのファイルを入れ替える事でファイルの送出順番を変更する事が出来ます。
- ホストにファイルを転送する際に、ファイルの送出順番に並び替えて転送する事が出来ます。
- ローカルファイルのデーター変換やコピー、映像フォーマットのコンバートが出来ます。
- ファイルをイメージビューワーで縮小拡大/等倍表示、Fillのみ/Keyのみ/合成表示で確認する事が出来ます。
- ファイル名の数字部分が連続した連番ファイルをグループ化して一括処理できます。
- ローカル、ホストのファイル一覧をサムネイル表示、アイコン表示、リスト表示などで表示し管理できます。
- ホスト側のファイル削除を行う事が出来ます。
- ホスト側のファイル名を変更する事が出来ます。
- 表示する情報をローカル側だけ、ホスト側だけ、両方表示から選択でき、ステータス領域の表示/非表示を切り替える事が出来ます。
- フィルターを設定してファイル一覧に表示するファイルの種類を選択できます。

2. 機能チェック

1. 構　成

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	Videotron FTP （Application CD）	CD-ROM	1	

2. 動作環境

(1) 対応OS

Microsoft Windows XP Home Edition/Professional Service Pack 2以上

Microsoft Windows7 Home Premium32ビット以上

※いずれのOSも日本語版のみ対応しています

※Microsoft Windows XP Professional x64 Editionには対応していません

※記載されていないOS(Windows 95/98/98SE/Me/NT、Mac OSなど)では使用できません

(2) ハードウェア

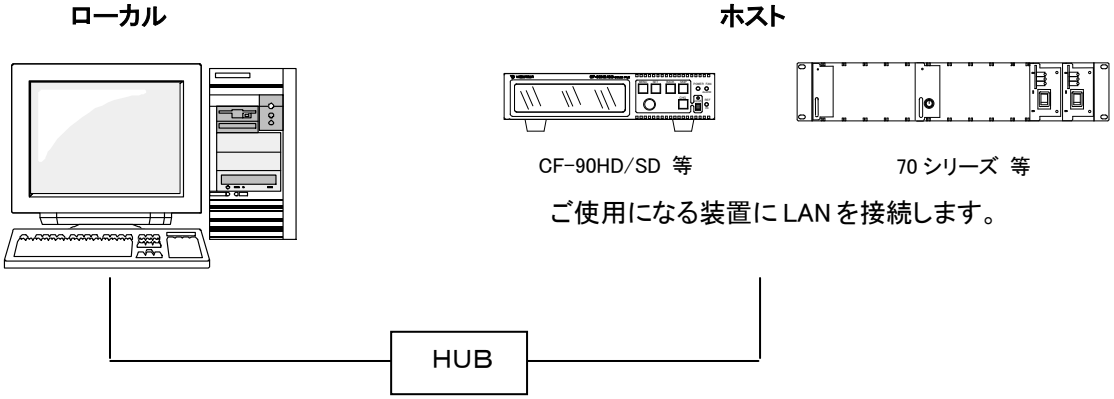
CPU	1GHz以上
メモリ	2GB以上
ハードディスク	20GB以上のハードディスク空き容量
グラフィックス	Windows Display Driver Model (WDDM) 1.0 以上のドライバーを搭載した DirectX® 9 グラフィックプロセッサ
LAN	100BASE-T 以上
その他	アプリケーションインストール用 CD-ROMドライブを有する

XP、Windows7が動作する環境

3. 接続

ファイルの転送先となる機器（ホスト）をネットワークでPC（ローカル）と接続します。LANケーブルはHUBを使用する場合はストレートケーブルを使用し直接接続する場合はクロスケーブルを使用します。

4. 機能チェック接続図



5. パソコンのネットワーク設定

パソコンのネットワーク設定を行います。

CF-90HD/SDの通信のみで使用するパソコンの場合はデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は必要ありません。

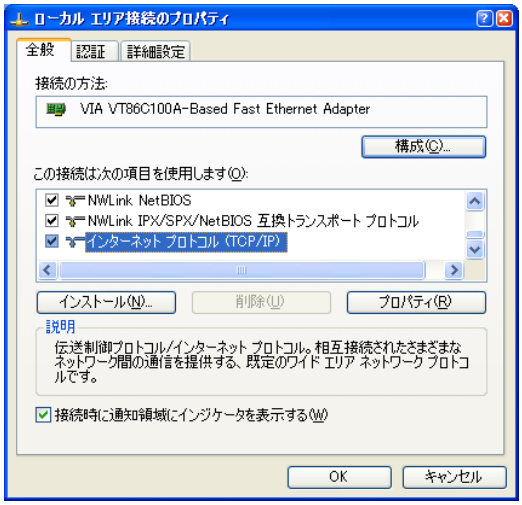
WindowsXPの設定方法です

コントロールパネル内の”ネットワークとインターネット接続”を開きます。

(1) ネットワーク接続を開きます。

(2)「ローカルエリア接続」を右クリックしてプロパティを開きます。

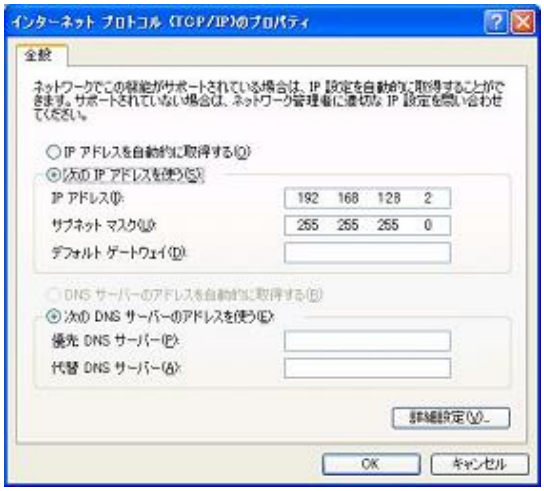
(3)「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



(4) IPアドレスの設定を行います。

「IPアドレスを自動に取得する」がチェックしてある場合は「次のIPアドレスを使う」をチェックしてIPアドレス、サブネットマスクを設定します。

※注意！　他のパソコン等と重複しないように注意して入力してください。



設定が終わったら「OK」をクリックしてダイアログを終了します。

注記：転送ができない時や不明な点がある時には、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

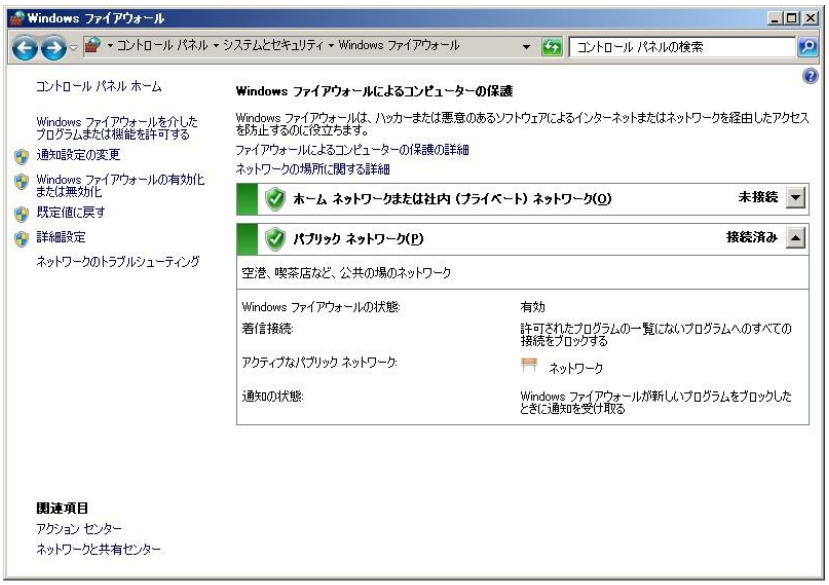
6. ファイヤーウォールの設定について

Windows 7をご使用の場合はファイヤーウォールの設定を無効にしていただく必要があります。

注）ファイヤーウォールはコンピュータを保護する役割があります。VFTPアプリケーションを使用しないときは設定を有効に設定することをお勧めします。

ファイヤーウォールの設定方法

スタートメニューからコントロールパネル>システムとセキュリティ>Windowsファイヤーウォールを選択します。



Windows ファイヤーウォールの有効化または無効化を選択します。

Windows ファイヤーウォールを無効にするを選択しOKボタンを押せば設定完了です。

ファイヤーウォール設定で不明な点はネットワーク管理者に問い合わせてください。

7. POWER ON までの手順

以下の操作はアプリケーションがインストールされている状態から行います。インストールが済んでいない場合は「3.インストール」を参照し、インストールを行ってください。

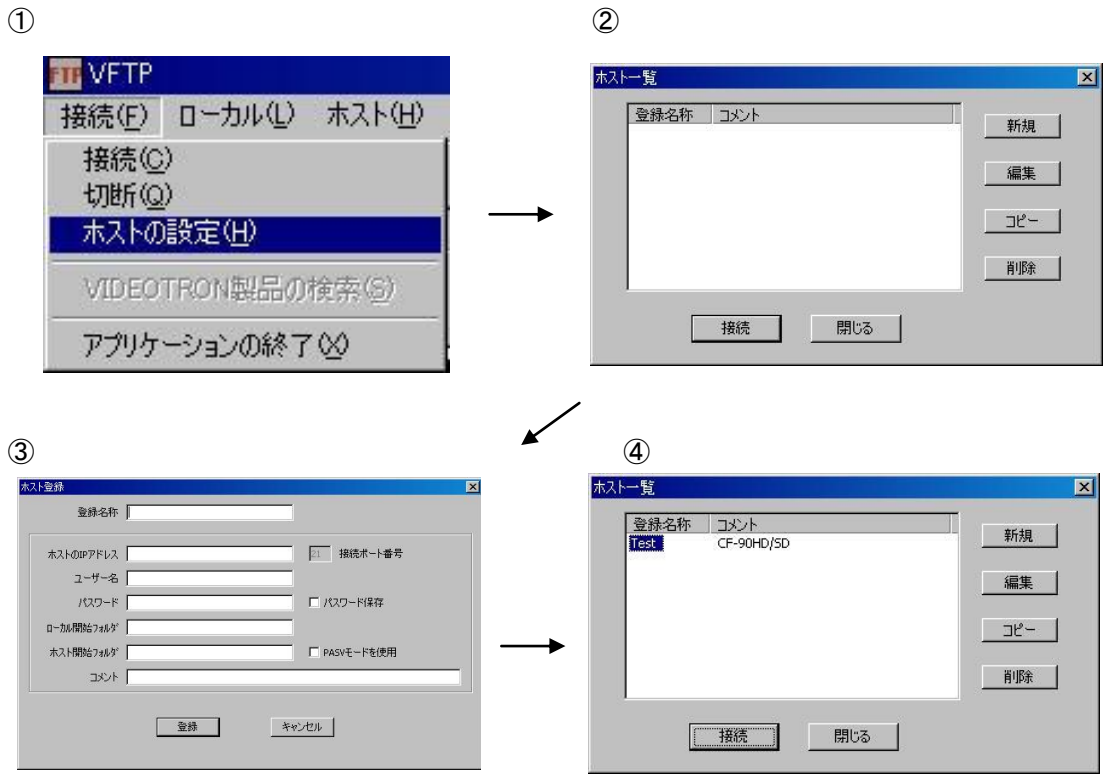
(1) PC(ローカル)と転送先の機器(ホスト)がLANで接続されている事を確認します。
(2) PCを起動しWindowsにログインします。
(3) デスクトップ上の「VFTP」アイコンまたはスタートメニューのアプリケーションから[VIDEOTRONアプリケーション] – [VFTP]を選択してアプリケーションを起動します。

8. 基本動作チェック

下記の操作で本体が正常に動作していることをチェックします。
正常に動作しない場合は.「6. トラブルシューティング」を参照してください。

(1)ホストに接続します。

① メニューバーから「接続」→「ホストの設定」を選択します。
② ホスト一覧ダイアログが表示されます。「新規」を選択して接続先を登録します。
③ ホスト登録ダイアログが表示されます。接続先の登録名称、ユーザー名、パスワード等を入力して登録します。他の項目は必要により入力してください。
④ ホスト一覧に登録した情報が表示されます、ホスト接続情報を選択し「接続」を押します。
(※設定値の詳細は「4.1.(1) メニューバー .1-1接続」の「ホストの設定」を参照して下さい。)



(2) ローカルのファイルをホストに転送します。

1)転送するファイルをローカル側ファイル一覧から選択します。

2) アイコンをクリックしてローカルからホストへファイルを転送します。

3)ホストにファイルが転送され、ホスト側のファイル一覧にファイルが表示されます。

※注意！　ファイル転送時ホストに同じファイル名が存在する場合は上書をしますのでご注意ください。

(3) ホスト内のファイルをローカルに転送します。

1)転送するファイルをホスト側ファイル一覧から選択します。

2) アイコンをクリックしてホストからローカルへファイルを転送します。

3)ローカルにファイルが転送され、ローカル側のファイル一覧にファイルが表示されます。

※注意！　ファイル転送時ローカルに同じファイル名が存在する場合は上書をしますのでご注意ください。

3. インストール

1. アプリケーション CD

アプリケーション CD 内には、以下のフォルダがあります。

disk1……アプリケーションのインストーラーが格納されています。
Document……各種取扱説明書等が格納されています。
　VFTP 取扱説明書_RXX……VFTP の取扱説明書です。
　Adobe Reader……Adobe Reader®のインストーラーが格納されています。

2. アプリケーションインストール

VFTPのインストールは、以下の手順で行います。

※始めにVFTPプリケーションCDをCD-ROMドライブに挿入しておいてください。

VFTP のインストールを開始します。

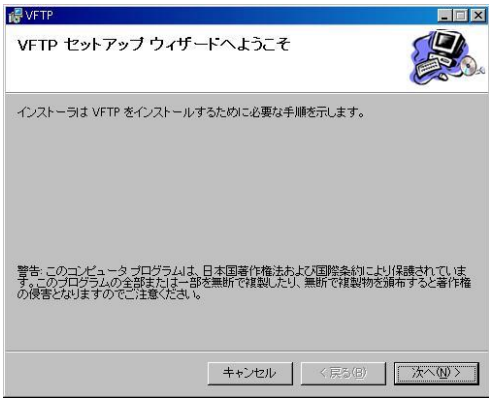
（1）フォルダ「disk1」を開いてください。

（2）「disk1」内にあるファイル「VFTPInstaller.msi」をダブルクリックしてください。

（3）画面上には次のダイアログが順番に表示されます。

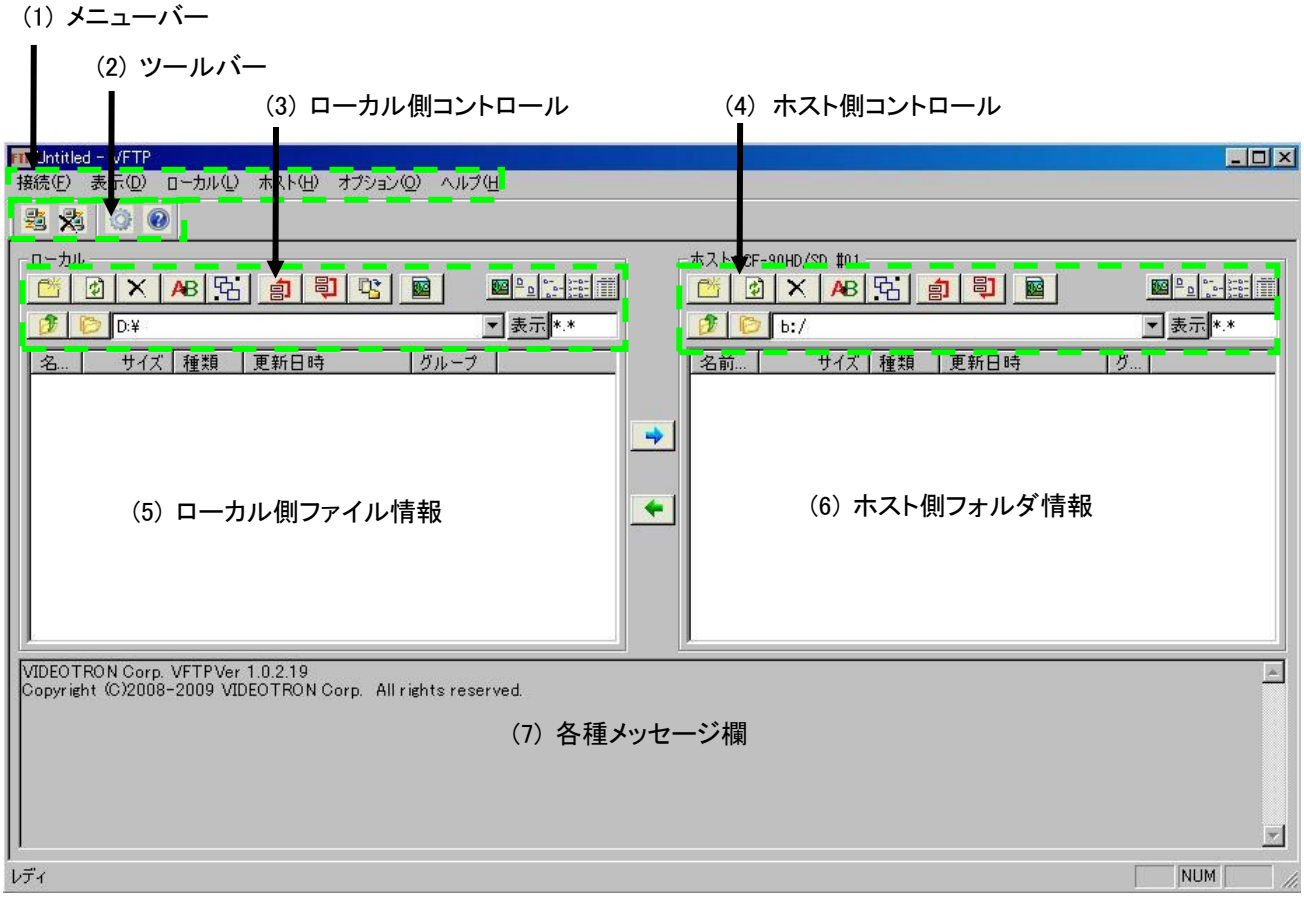
各項目を確認しながら「次へ」をクリックしてインストールを進めてください。

①

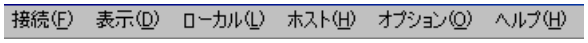


4. 各部の名称と働き

1. メインウインドウ

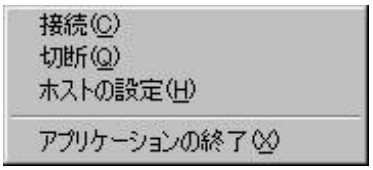


(1) メニューバー



メニューバーには、6種類のメニューが配置されています。それぞれのメニューには、以下の子メニューが割り付けられています。

1-1.接続



「接続」

ホストへの接続を開始します。

「切断」

接続中のホストを切断します。

「ホストの設定」

ホストの接続情報を設定します。

ホスト一覧

新規に接続先のホストを登録する時は、「新規」ボタンをクリックします。ホスト登録ダイアログが表示され、各項目を入力しホスト一覧に登録します。既に登録済みのホストの内容を編集する時は、ホストの登録名称を選択して「編集」ボタンをクリックします。コピーボタンをクリックすると、選択されたホストの情報がホスト登録ダイアログにコピーされます。別ホストの登録情報を入力する時に入力する手間が軽減できます。「削除」ボタンをクリックすると、選択されたホストの情報を削除します。

ホスト登録ダイアログ

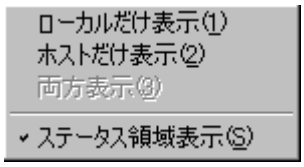
登録名称	アプリケーションで表示する名称を設定します。
ホストのIPアドレス	接続するホストのIPアドレスを入力します。 (CF-90シリーズの初期IPアドレス:192.168.1.1)
ユーザー名	FTPにログインする際のユーザー名を指定します。 (CF-90シリーズのユーザー名:ADMIN)
パスワード	FTPにログインする際のパスワードを指定します。 (CF-90シリーズのパスワード:cf90)
ローカル開始フォルダ	FTP接続時に表示するローカル側のフォルダを指定します。
ホスト開始フォルダ	FTP接続時に表示するホスト側のフォルダを指定します。
コメント	ホストのコメントを入力します。

ユーザー名/パスワードについてはホストの取扱説明書を参照してください。

「アプリケーションの終了」

VFTPアプリケーションを終了します。

1-2. 表示



「ローカルだけ表示」

ローカル側ファイル情報のみを表示します。

「ホストだけ表示」

ホスト側ファイル情報のみを表示します。

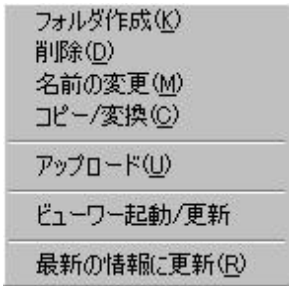
「両方表示」

ローカル側とホスト側両方のファイル情報を表示します。

「ステータス領域表示」

ステータス領域の表示/非表示を切り替えます。

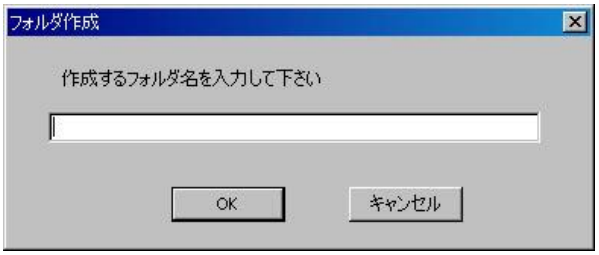
1-3. ローカル



「フォルダ作成」

ローカル表示中のフォルダ内にフォルダを作成します。

フォルダ作成ダイアログが表示されます。フォルダ名を入力します。



「削除」

現在選択しているローカルのフォルダ/ファイルをゴミ箱に送ります。

「名前の変更」

現在選択しているローカルフォルダ/ファイルの名前を変更します。

「コピー/変換」

現在選択しているローカルのファイルをコピー/変換(Targa->Jpeg200/Jpeg2000→Targa等)します。

「アップロード」

現在選択しているローカルのファイルをホストへ転送します。

「ビューワー起動/更新」

現在選択しているローカルのファイルをビューワーで表示します。

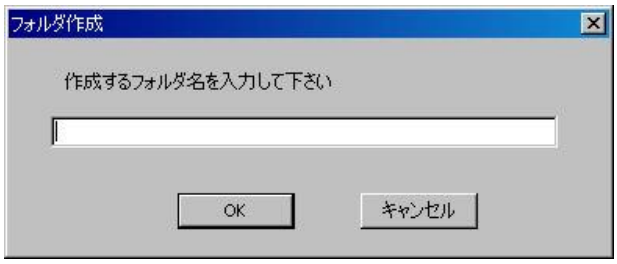
「最新の情報に更新」

現在表示しているローカルフォルダのリスト表示を更新します。

1-4.ホスト

「フォルダ作成」

ホスト表示中のフォルダ内にフォルダを作成します。



「削除」

現在選択しているホストのフォルダ/ファイルを削除します。

「名前の変更」

現在選択しているホストフォルダ/ファイルの名前を変更します。

「ダウンロード」

現在選択しているホストのファイルをローカルへ転送します。

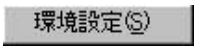
「ビューワー起動/更新」

現在選択しているホストのファイルをビューワーで表示します。

「最新の情報に更新」

現在表示しているホストフォルダのリスト表示を更新します。

1-5.オプション



「環境設定」

環境設定ダイアログを表示します。

一時ファイル保存先	変換処理中のファイルを一時的に保存するために使用します。
初期ローカルフォルダ	アプリケーション起動時にローカルのフォルダを表示する場所を指定します。

リスト挿入先指定

選択リストの後に挿入する	ホスト側の選択されたファイルの下にデーターを転送します。
任意の場所に挿入する	データーを転送時にダイアログを表示し番号を指定します。
転送元のファイル名のまま挿入する	ローカル側のファイル番号にデーターを挿入します。

1-6.ヘルプ

「バージョン情報」

バージョン情報を表示します。

(2) ツールバー

「接続」

ホストへの接続を開始します。

「切断」

接続中のホストを切断します。

「環境設定」

環境設定ダイアログを表示します。

「ヘルプ」

ファイル転送ソフトのバージョン情報を表示します。

(3) ローカル側コントロール

各アイコンの機能を説明します。

1) フォルダの作成を行います。
2) リスト表示の更新を行います。
3) フォルダ/ファイルの削除を行います。
4) ファイルの名称を変更します。
5) グループ化のON/OFFを切り替えます。

グループOFFの状態ですべてのファイルを表示します。

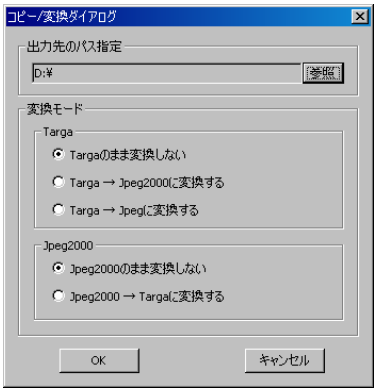
グループONの状態でFILL、KEY、AUDIOを一つのファイルとして表示します。

グループONの状態でFILL、KEY、AUDIOを一つのファイルとして表示し、さらにファイル番号が連続している場合一つのグループとします。

詳細は「3. 2. グループ化とルールについて」を参照してください

6) 選択されているファイルをリストの一つ上に移動します。
7) 選択されているファイルをリストの一つ下に移動します。
8) 選択されているファイルをコピー/変換します。

右記のダイアログが表示されます。出力先のパスを設定して選択ファイルをコピー/フォーマット変換する事が出来ます。Targaファイルから Jpeg/Jpeg2000に変換とJpeg2000ファイルをTargaに変換を選択する事が出来ます。その他のファイルはコピーします。



9) 選択されているファイルをビューワーで表示します。
10) リスト表示をサムネイル表示に切り替えます。

複数回押す事で表示サイズが3段階で切り替える事が出来ます。

11) リスト表示を大きいアイコン表示に切り替えます。
12) リスト表示を小さいアイコン表示に切り替えます。
13) リスト表示を一覧表示に切り替えます。
14) リスト表示を詳細表示に切り替えます。
15) 1つ上のフォルダに移動します。
16) フォルダを指定して移動します。

ツリービューダイアログが表示されます。移動先のフォルダを選択して下さい。

17) 現在フォルダの表示と、移動したフォルダの履歴とドライブを表示します。
18) 表示 リスト表示するファイルを選択します。

ホストの機器がCF-90HD/SDの時に使用できます。リストに表示されるファイルを「全て表示」または「Targaファイルのみ表示」、「Jpeg2000のみ表示」、「Waveファイルのみ表示」に切り替えることができます。

19) *.* リスト表示するファイルをファイル名や拡張子で限定して表示します。

表示させたいファイル名や拡張子を入力します。ピリオド(.)の前がファイル名、後が拡張子になります。すべて表示を行いたい場合はワイルドカード(*)を入力します。※切断時有効です。接続先によって選択できなくなります。

(例)

.	ファイルをすべて表示します。
01*.*	ファイル名の先頭が01で始まるファイルをすべて表示します。
*.tga	拡張子が”.tga”のファイルをすべて表示します。

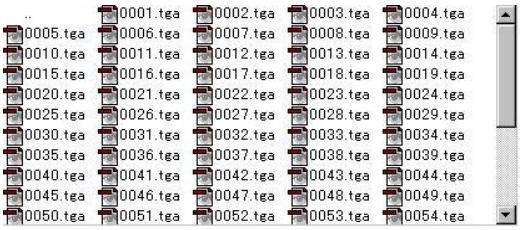
リスト表示の種類について

1) 大きいアイコン

ファイル一覧を「大きいアイコン」形式で表示します。

2) 小さいアイコン

ファイル一覧を「小さいアイコン」形式で表示します。



3) 一覧

ファイル一覧を「一覧」形式で表示します。

4) 詳細

ファイル一覧を「詳細」形式で表示します。リスト上部のカラムをクリックすると名前、サイズ、種類、更新日時で昇順、降順に並び替えができます。

5) サムネイル

ファイル一覧を「サムネイル」形式で表示します。サムネイルボタンを複数回押す事で表示サイズが3段階で切り替わります。α付きのTargaファイルは合成して表示します。連番グループの時は4分割で表示し、FKAグループ時はFillとKeyを合成して表示します。FKAグループ時にAudioが含まれる時はイメージ上に♪が表示されます。

(4) ホスト側コントロール

各アイコンの機能を説明します。

1) フォルダの作成を行います。ホストとなる機器のFTP機能の制限により使用できない場合があります。
2) リスト表示の更新を行います。
3) フォルダ/ファイルの削除を行います。
4) ファイルの名称を変更します。ホストとなる機器のFTP機能の制限により使用できない場合があります。
5) グループ化のON/OFFを切り替えます。

グループOFFの状態ですべてのファイルを表示します。
グループONの状態でFILL、KEY、AUDIOを一つのファイルとして表示します。
グループONの状態でFILL、KEY、AUDIOを一つのファイルとして表示し、さらにファイル番号が連続している場合一つのグループとします。

詳細は「3. 2. グループ化とルールについて」を参照してください

6) 選択されているファイルをリストの一つ上に移動します。
7) 選択されているファイルをリストの一つ下に移動します。
8) 選択されているファイルをビューワーで表示します。
9) リスト表示をサムネイル表示に切り替えます。

複数回押す事で表示サイズを3段階で切り替える事が出来ます。

10) リスト表示を大きいアイコン表示に切り替えます。
11) リスト表示を小さいアイコン表示に切り替えます。
12) リスト表示を一覧表示に切り替えます。
13) リスト表示を詳細表示に切り替えます。
14) 1つ上のフォルダに移動します。

15) フォルダを指定して移動します。

ホストの機器がCF-90HD/SDの時は右記のダイアログが表示されます。転送先のドライブ(フォーマット)の切り替えが行えます。

ホストの機器がCF-90HD/SD以外の時はパスを指定するダイアログが表示されます。接続先のドライブを変える場合は、ドライブ文字から入力を行います。

（例）

C:¥VROOT¥

16) 現在フォルダの表示と、移動したフォルダの履歴とドライブを表示します。

17) リスト表示するファイルを選択します。

ホストの機器がCF-90HD/SDの時に使用できます。リストに表示されるファイルを「すべて表示」または「Jpeg2000」ファイルのみの表示、「Wave」ファイルのみの表示に切り替えることができます。

18) リスト表示するファイルを指定します。

表示させたいファイル名や拡張子を入力します。ピリオド(.)の前がファイル名、後が拡張子になります。すべて表示を行いたい場合はワイルドカード(*)を入力します。

※CF-90では使用できません。

（例）

.	ファイルをすべて表示します。
01*.*	ファイル名の先頭が01で始まるファイルをすべて表示します。
*.j2c	拡張子が”.j2c”のファイルをすべて表示します。

リスト表示の種類について

1) 大きいアイコン

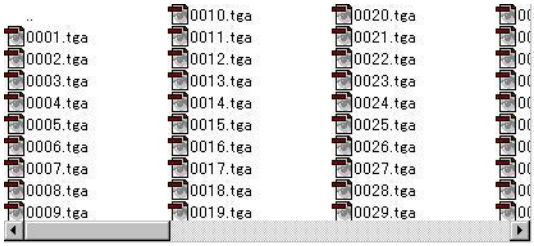
ファイル一覧を「大きいアイコン」形式で表示します。

2) 小さいアイコン

ファイル一覧を「小さいアイコン」形式で表示します。

3）一覧

ファイル一覧を「一覧」形式で表示します。



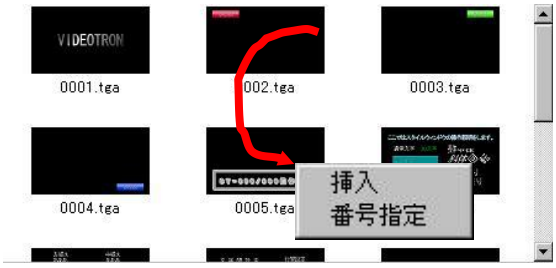
4）詳細

ファイル一覧を「詳細」形式で表示します。リスト上部のカラムをクリックすると名前、サイズ、種類、更新日時で昇順、降順に並び替えができます。

5）サムネイル

ファイル一覧を「サムネイル」形式で表示します。サムネイルボタンを複数回押す事で表示サイズが3段階で切り替わります。α付きのTargaファイルは合成して表示します。連番グループの時は4分割で表示し、FKAグループ時はFillとKeyを合成して表示します。FKAグループ時にAudioが含まれる時はイメージ上に が表示されます。

リストの入れ替えについて

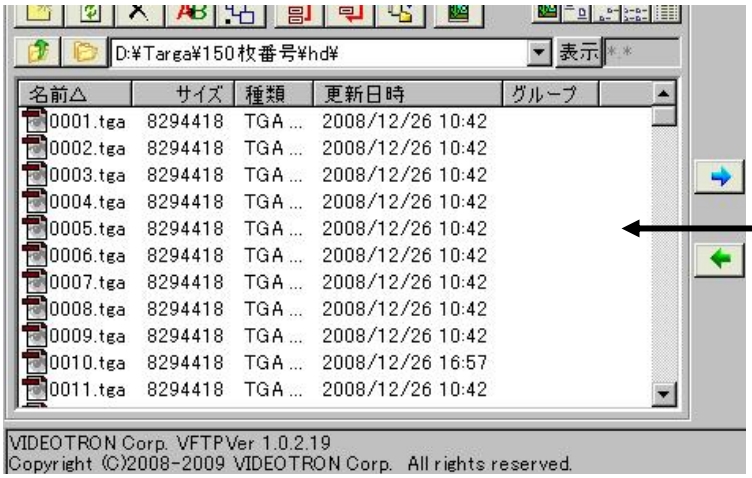


ドラッグ＆ドロップでリスト挿入先モードを設定します。
挿入：ドロップした場所に挿入します。
番号指定：挿入先リスト番号をダイアログで設定します。

(5) ローカル側ファイル情報

ローカル側のファイル情報を表示します。

詳細表示の時グループ化されたファイルはグループ列にまとめたファイル数を表示します



ローカル側ファイル情報

1) ファイルのアップロード方法について

次の2つの方法でローカルからホストにファイルをアップロードします。

1. 転送したいファイルをローカルのファイル一覧から選択して アイコンをクリックしてローカルからホストへファイルを転送します。
2. 転送したいファイルをローカルのファイル一覧から選択してホスト側のリスト領域までドラッグ＆ドロップします。

転送する装置のパラメータを設定するとコンバートが開始されホストにファイルが転送されます。転送される順番はローカルのファイル一覧で上から順に転送します。

※注意！　ファイル転送時ホストに同じファイル名が存在する場合は上書をしますのでご注意ください。

※注意！　CF側のOnAirNoに対して転送すると失敗します。

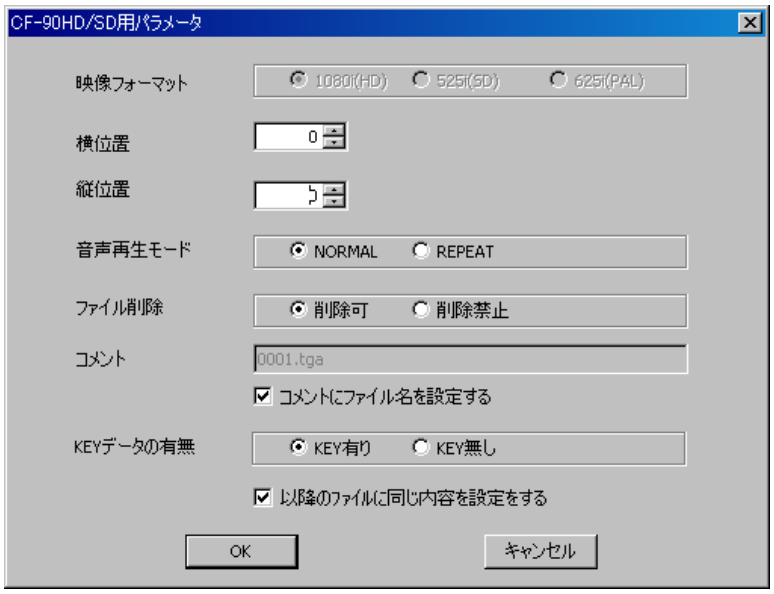
【AG-70HD/SDのパラメータ】

AG-70HD/SDにTargaデーターをアップロードする時はTarga→Jpeg変換処理を行います。

映像フォーマット	画像の映像フォーマットを指定します。
音声再生モード	音声の再生モードを指定します。
以降のファイル…	複数のファイルを転送する時にすべて同じ設定します。

【CF-90HD/SDのパラメータ】

CF-90HD/SDにTargaデーターをアップロードする時はTarga→Jpeg2000変換処理を行います。

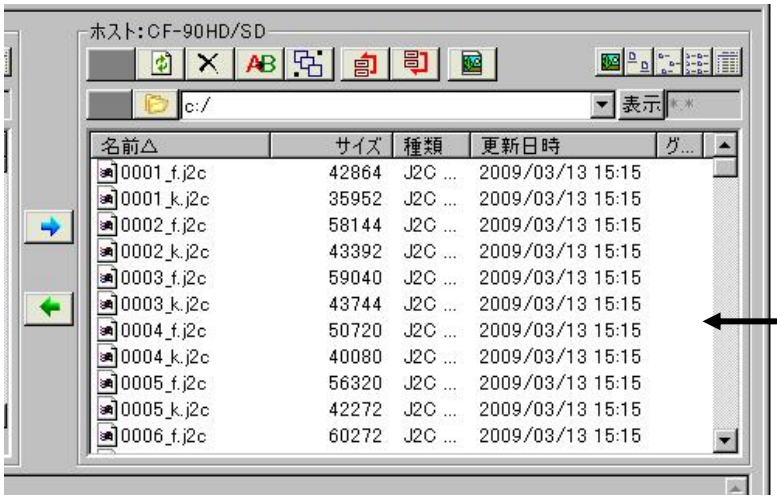


横位置、縦位置	画像の表示オフセットをドットで指定します。
音声再生モード	音声の再生モードを指定します。
ファイル削除	ファイルの削除可、削除禁止を指定します。
コメント	ファイル情報にコメントを追加します。
コメントにファイル名…	コメントに転送元のファイル名を設定します。
KEYデーターの有無	変換時にKEYファイル作成の有無の設定を行います。KEYファイルを作成する場合は「KEY有り」を選択し、作成しない場合は「KEY無し」を選択します。
以降のファイル…	複数のファイルを転送する時にすべて同じ設定します。

(6) ホスト側フォルダ情報

ホスト側のファイル情報を表示します。

詳細表示の時グループ化されたファイルはグループ列にまとめたファイル数を表示します。



ファイルのダウンロード方法について次のいずれかの操作方法でホストからローカルにファイルをダウンロードします。

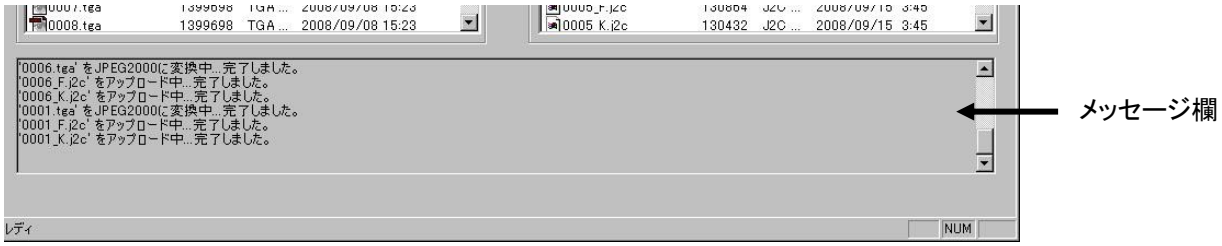
1. 転送したいファイルをホストのファイル一覧から選択して アイコンをクリックしてホストからローカルへファイルを転送します。
2. 転送したいファイルをローカルのファイル一覧から選択してローカル側のリスト領域までドラッグ &ドロップします。

転送する装置のパラメータを設定するとコンバートが開始されホストにファイルが転送されます。

※注意！ ファイル転送時ローカルに同じファイル名が存在する場合は上書をしますのでご注意ください。

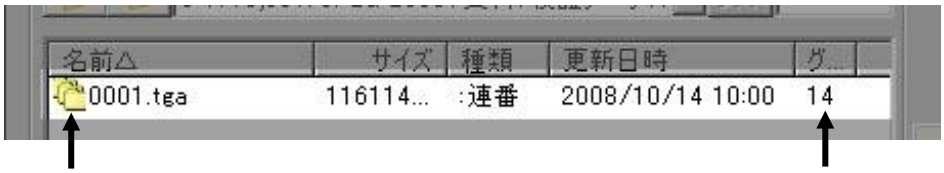
(7) 各種メッセージ欄

VFTP が発行したコマンドを表示します。エラーが発生した時は、エラーメッセージもこの欄に表示します。



2. グループ化とルールについて

ファイル名の先頭から始めの数字部分が次のファイルと連続しており、数字以外の部分が同じ文字列のファイルを1つのファイルグループとして表示し移動や削除をまとめて管理できます。



グループ化されたファイルアイコン　　グループ化されたファイル数

例:3つのファイルをグループ化する場合。1つのファイルとして表示されます。

abc0001.tga
abc0002.tga
abc0003.tga

→ abc0001.tga　3ファイルを1ファイルで表示

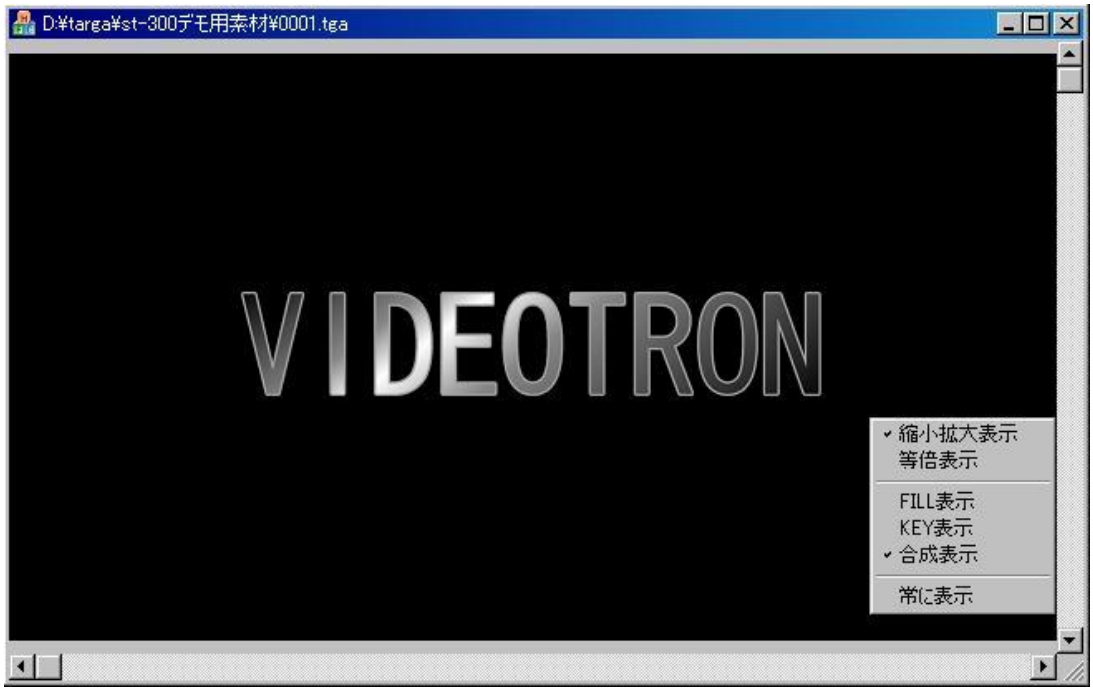
例:連続している番号の中間が抜けている場合。2つのファイルとして表示されます。

xyz0010.tga
xyz0011.tga
xyz0012.tga
xyz0013.tga
xyz0015.tga
xyz0016.tga
xyz0017.tga

→ xyz0010.tga　4ファイルを1ファイルで表示

xyz0015.tga　3ファイルを1ファイルで表示

3. プレビュー表示について



ローカルまたはホストのファイルを「ビューワー起動/更新」すると、CF-90 で作成された Jpeg2000(.j2c)ファイルと Targa(.tga)ファイルをウインドウに表示する事ができます。

プレビュー画面
ウインドウ内を右クリックするとプルダウンメニューが表示されイメージの表示方法の変更やウインドウの表示の変更を変更することができます。ウインドウ内をマウスの左ボタンでダブルクリックして表示モードを切り換える事ができます。スライドバーを移動する事でイメージのポジションを移動して確認する事ができます。ファイルエクスプローラからディスク上のファイルを直接ウインドウにドラッグ &ドロップしてファイルを表示する事もできます。

表示モード
　縮小拡大表示：ウィンドウサイズに縮小拡大して表示します。
　等倍表示：ファイルのサイズで表示します。
表示タイプ
　FILL表示：FILLのみを表示します。
　KEY表示：KEYのみを表示します。
　合成表示：FILLとKEYを合成して表示します。
ウィンドウの表示モード
　常に表示：常にウィンドウの手前に表示します。

※プレビュー表示の機能はVFTPアプリケーションと独立して起動することも出来ます。実行ファイル「ImageViewer.exe」をエクスプローラから起動するとプレビュー表示だけが起動します。
　表示したいファイルをエクスプローラからD&Dで持ってくることで対応しているイメージファイルを表示する事が出来ます。

5. 転送対応機種と対応ファイルフォーマット

1. 転送対応機種

（2009年1月現在）

1） CF-90HD/SD

2） AG-70HD/SD

2. 対応ファイルフォーマット

1） CF-90HD/SD

・TARGAファイル仕様

画像サイズ　：HD (1920x1080)、SD (720x486)、PAL (720x576)、640x480、その他

フォーマット　：TARGA形式

圧縮方式　：非圧縮RGBタイプ

カラー　：RGB 24Bit または RGBα 32Bit

拡張子　：TGA、tga

【画像変換について】

転送先のファイルフォーマットと画像サイズが異なる場合、アスペクトを考慮しサイズ変換がされます。HDからSDまたはPALに変換する場合はサイドカット、SDまたはPALからHDに変換する場合はサイドパネルが追加されます。定型サイズ以外の画像ファイルは指定サイズにリサイズされます。

・WAVファイル仕様

データーサイズ　：16ビット

サンプリング周波数：48KHz

チャンネル数　：2チャンネル

フォーマットID　：PCM

拡張子　：WAV、wav

再生時間　：最大1分×20ファイル

2） AG-70HD/SD

・TARGAファイル仕様

画像サイズ　：HD(1920x1080)、SD(720x486)

フォーマット　：TARGA形式

圧縮方式　：非圧縮RGBタイプ

カラー　：RGBα32Bit

拡張子　：TGA、tga

・WAVファイル仕様

データーサイズ　：16ビット

サンプリング周波数：48KHz

チャンネル数　：2チャンネル

拡張子　：WAV、wav

再生時間　：最大20分

６．トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

現 象 アプリケーションが起動しない。

原 因 アプリケーションのインストールは適切にされていますか？
処 置 アプリケーションのアンインストールを行い、再度CD-ROMからインストールを行ってください。
アプリケーションのインストールにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

現 象 ホストの機器にFTPで繋がらない。

原 因 LANケーブルは正しく接続されていますか？
処 置 「２．４ 機能チェック接続図」を参考にしてLANケーブルの接続を行ってください。

原 因 本体の電源が切れていませんか？
処 置 本体の電源を入れ、再度接続をおこなってください。

原 因 同一ネットワーク上でIPアドレスが重複して設定されていませんか？
処 置 ネットワーク管理者に問い合わせ、IPアドレスを適切な値へ変更してください。

原 因 ホストの機器はファイル転送可能ですか？
処 置 ホストの機器によってファイル転送の仕方が異なる場合があります。ホスト側の取扱説明書でファイル転送の項目を確認してください。

現 象 リストが表示されない。

原 因 リスト表示するファイルがフィルタリングされていませんか？
処 置 ローカル側の場合は「４．1.(3) ローカル側コントロール」の 18）と 19）を参照して設定し直してください。
ホスト側の場合は「４．1.(4) ホスト側コントロール」の 17）と 18）を参照して設定し直してください。

現 象 転送に失敗する。

原 因 転送したファイルのファイルフォーマットはホスト側で対応していますか？
処 置 ホストの機器によって転送が行えるファイルフォーマットが異なります。「５．転送対応機種と対応ファイルフォーマット」を参照して、転送するファイルのフォーマットを確認してください。また、ホスト側の取扱説明書のファイルフォーマットの項目も確認してください。

原 因 CF側のOnAirNoに対して転送していませんか？
処 置 CF側のOnAirNoに対しては転送できません。転送先の番号を変えて転送して下さい。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

御使用者各位

ビデオトロン株式会社
製造技術部

緊 急 時 の 連 絡 先 に つ い て

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社　製造技術部

〒193-0835　東京都八王子市千人町2－17－16
TEL　　042－666－6329
FAX　　042－666－6330
受付時間　8:30～17:00
e-mail:cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042－666－6311
緊急時　　090－3230－3507
受付時間　9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。

・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。